



人類に  
奉仕する  
ロータリー

# 藤沢東ロータリークラブ 週報

2016~2017 Rotary Club of Fujisawa East



- 会 長/石田能治 幹 事/林葉之 例 会/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/藤沢市南藤沢 4-2 吉田ビル 5 階 TEL 0466-41-9191 FAX 0466-41-9192
- 例会場/湘南クリスタルホテル藤沢市南藤沢 14-1 TEL0466-28-2111 FAX0466-28-2126

ROTARY SERVING HUMANITY

## 第 1962 回例会 2017 年 2 月 21 日 (火) (天候) 晴れ No.29

点鐘 クリスタルホテル4F「パルティール」  
閉会 Partir

ロータリーソング:「それでこそロータリー」  
ゲスト・スピーカー

久郷ポンナレット様 (カンボジア出身)

ゲスト紹介

山本美智子 様 (陶芸家、書道家)

バナー交換 なし

会食・懇談

-会長報告-

- ・3月4日(土) 女性会員増強のためのセミナーが開催されます。
- ・3月26日(日) IMについて
- ・4月2日(日) ピースウォークについて
- ・5月19日(金) 合同親睦会…カラオケ大会に3名の参加協力をお願いします。

-表彰&特別挨拶- なし

-幹事報告-

- ・第3グループIMが開催されます。  
日時: 3/26(日) 受付 14:30~15:00  
場所: 藤沢市民会館第1展示ホール  
テーマ: ロータリー財団100周年を祝おう
- ・2017年地区研修・協議会が開催されます。  
日時 2017年4月16日(日) 11:30~  
場所: 立花学園高等学校(足柄上郡松田町)  
登録料: 1名につき8,000円
- ・藤沢北RC50周年記念誌を回覧します。
- ・例会変更のお知らせが届いております。

藤沢南RC

3/20(月) 祝日休会・春分の日

3/27(月) 26日振替休会 IM・8RC 合同例会  
4/3(月) 4/2 振替休会・PW

4/10(月) 4/9 振替休会・3RC 合同例会

出席報告

例会月日	総員(名)	出席(名)	欠席(名)	出席率(%)	メークアップ(名)	修正出席率
2月 7日	33(30)	-	-	.		.
2月14日	33(31)	22	10	70.97		

4/24(月) 夜間親睦移動例会(詳細未定)  
藤沢北RC

3/17(金) 移動例会 詳細未定

3/24(金) 26 振替休会 第3グループIM

3/31(金) 4/2 振替休会PWと例会

藤沢西RC

3/9(木) 親睦ゴルフ・夜間例会

3/16(木) 19 振休会 3RC 合同例会

3/23(木) 26 振替休会第3グループIM

-委員会報告-

- ・2017年地区研修会に担当の方はご協力下さい。担当役員は次回例会に発表します。  
・・・山口会長エレクト
- ・出席報告 出席委員会
- ・スマイル報告 スマイル委員会

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日 飯森均 会員(欠席)

配偶者誕生日 なし

-卓話-

「カンボジア難民について」

久郷ポンナレット 様



点鐘

閉会

-スマイル-

村木スマイル委員長



【石田能治 会長】

久郷様、本日の卓話よろしくお願い致します。

【林葉之 幹事】

久郷様、本日の卓話よろしくお願い致します。  
花粉症のつらい時期になりました。皆様も、どうぞお体にご自愛願います。

-委員会報告-

2017年地区研修・協議会 山口会長エレクト



「担当役員の方はご協力下さい。  
次回例会にて担当役員を発表します。」

出席報告

狩野出席副委員長



会員誕生日

田中正昭会員



※飯森均会員欠席、1月誕生日の田中正昭会員

ゲスト 山本美智子様（陶芸家、書道家）



卓話者紹介

入澤プログラム委員長



「本日の卓話者は、カンボジア難民の久郷ポンナレット様です。

ポンナレットさんはポル・ポト政権下で家族6人を失い、1980年に難民として来日しました。16歳から19歳まで小学校で日本語を学びながら、差別にも耐え、夜間中学さらには湘南高校の通信制を卒業されました。現在は日本人の御主人と2人の子どもさんと共に平塚市に在住で、在日カンボジア人子女の教育援助や幅広く講演活動などを行っております。」



卓話 「カンボジア難民について」  
久郷ポンナレット 様

## カンボジアの現代アンネ

皆様はじめまして、こんにちは。  
私は、カンボジア出身の久郷ポンナレットと申します。  
もちろん久郷は、日本人である夫の名字です。  
まずはじめに、私の簡単なプロフィールをご紹介します。

久郷ポンナレット（旧姓ペン・ポンナレット）  
1964年 カンボジア・プノンペンに生まれる。  
1975年 ポル・ポトによる暴政開始。  
両親、きょうだい4人を失い、自らも過酷な  
強制労働に従事させられ、  
死の瀬戸際で一命を取りとめる。  
1979年 ポル・ポト政権崩壊。混乱の中、タイ  
に脱出。  
1980年 留学中の姉セタリンを頼って来日。  
その後苦学して小学校・中学校を卒業。  
1988年 日本人男性と結婚。日本国籍取得。  
2004年3月 湘南高校通信制を卒業。

現在、平塚市に在住し、在日カンボジア人子女  
の教育援助や講演などを行っております。  
これから、少しずつではありますがさまざま  
なテーマを取り上げていきたい、と思っております。

たとえば、私が書いた『虹色の空』や  
『19歳の小学生』の内容を紹介したり、  
「戦争体験」・「大虐殺を生き延びて…」  
「難民」「差別・偏見」「国際結婚」などを  
素直な気持ちで、みなさんに語りかけていき  
たいと思います。

### 著書紹介

2001年4月30日 春秋社「色のない空」（絶版）

2008年4月 「虹色の空」（カンボジア語版）  
The “Rainbow Sky” of the Khmer language

2009年4月 “RAINBOW SKY SURFACE（英語）

2009年5月30日 春秋社「虹色の空」＜カンボジア  
虐殺＞を越えて1975-2009

2015年11月19日 メディアアイランド  
「19歳の小学生」（児童書）



写真 2004年12月吉日 久郷ポンナレット、  
自宅にて（HP：[www.scn-net.ne.jp/~ponnaret/](http://www.scn-net.ne.jp/~ponnaret/)より）



### 著書より（書評）

1970年代のカンボジアで、10歳の少女  
が体験した戦争。

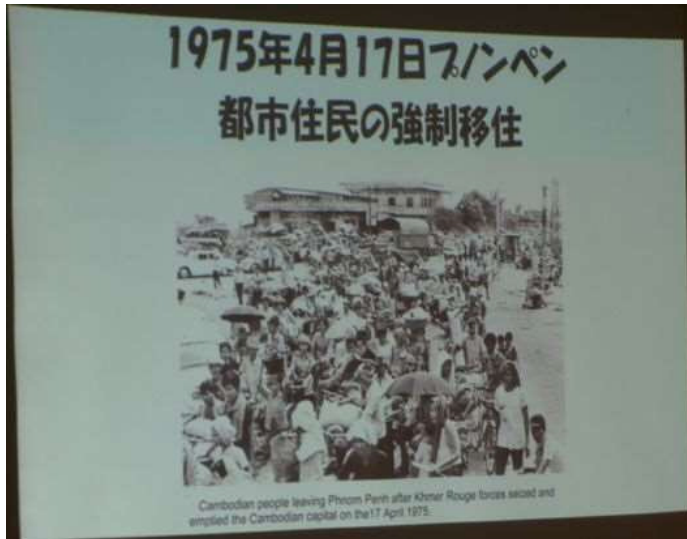
「ポル・ポト政権」による政治で、カンボジ  
アは内戦状態になり、少女は大好きな家族と  
離ればなれになり、父も母も、きょうだいも  
失いました。

強制労働の日々でマラリアにかかり、九死  
に一生を得た彼女は、15歳で難民として日  
本にやってきました。

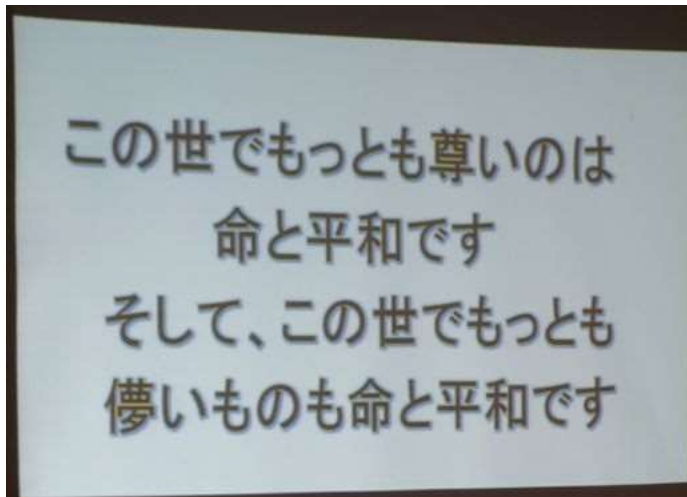
学校に行くのが夢だった少女は、16歳か  
ら19歳まで日本の小学校に通い、読み書き  
を覚えました。日本人の男性と結婚して、2  
人の子どものお母さんにもなりました。

卓話

ポル・ポト政権下のカンボジア



平和と大切な家族の命を失くした経験者から



カンボジアの首都プノンペンの裕福な家庭で育った10歳の時に、突然、ポル・ポト政権になり強制的に農村に追われた。170万人の国民が命を落とすなか、ポンナレットさんも両親と4人の兄弟を失い、自らも過酷な労働や虐待で死線をさまよった。

罵声を浴びながら森の開墾をさせられ、トカゲやバッタで飢えをしのぎ、目の前で肉親が衰弱死するなか何もできなすただただ耐え抜くだけの生き地獄を4年間体験する。

その後、奇跡的に地雷原を潜り抜け、難民キャンプ生活を経て、・・・日本に辿り着く。

日本社会について

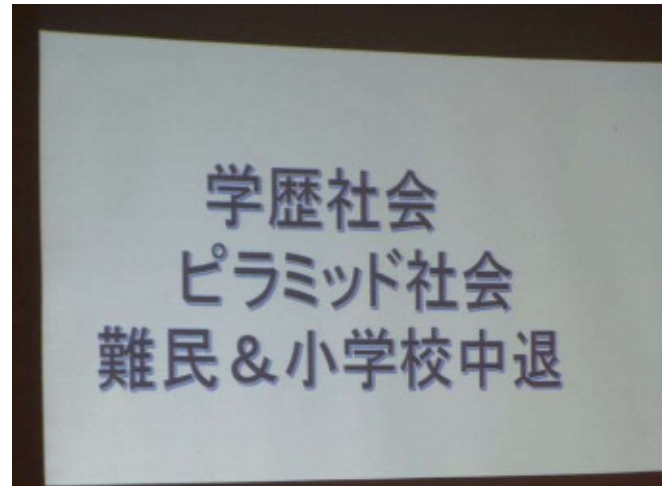
指紋採り

来日したばかりの頃の出来事です。

外国人登録証を作成するために、入国管理事務所を訪れました。係官が、私の右の人差し指を両手で押さえ、転がすように指紋を採りました。

容疑者扱いされたような出来事で、とても嫌な気分でした。しかし現在は、規則がかなり緩和され、在日外国人の私たちにとっては、大変喜ばしいことです。

個人的な意見ですが、いっそ日本人と同じようにその制度を無くせば、『日本は素晴らしい国になる』と私は思います。



来日後に受けた「人種差別、偏見」による言葉の数々

「難民たちは、援助に依存してしまい働く意欲はありません。」

「『難民』という呼称は、あなたの『特権』よ。」

「あなたは『難民』であることを、いずれは子供たちに話さなくちゃだめよ。」

「なんだかんだ言っても、本当に『難民』なんだから、しょうがないじゃない。」

「『難民』なんだから、あまり良い格好をしちゃだめよ。」

「難民と言え、あなたしか思い浮かばなかった。」

「夜の仕事のほうが高いよ。」

「いくら？」

「お前、ゴキブリみたいに色が黒いね。」

「あんたの命はおまけだね。」

「難民は日本社会の負担？」

その他諸々・・・

ポンナレットさんのホームページより

戦争で両親と兄弟4人を失い、住む場所も、着る物も、食べる物もありませんでした。生きるために大好きな祖国カンボジアを離れなければなりません。しかし私は今“日本”というもうひとつの祖国で、新しい家族を築くことができました。



1975年4月  
プノンペンの実家にて



2005年10月  
色のない空慰霊の旅



2006年6月  
色のない空慰霊の旅

សន្តិភាព ជីវិត